

2025年5月23日  
一般社団法人 沖縄トランスフォーメーション  
代表理事 中島洋

ご挨拶

今年度はいくつかの新プロジェクトを動かし始めるのに合わせ、理事会の陣容を強化するつもりです。沖縄DX会員会社に役立つ成果を上げてゆきたいと思えます。まだ、内容を公開できる段階ではありませんが、沖縄各地の地域振興や日本のIT社会に貢献する事業に取り組む予定です。形が見え始めたら随時、ご報告してゆきますので、注目ください。

+++++

目次

- 【視点】
- 【沖縄DX動向・会員情報】
- 【セキュリティの潮流】
- 【SDGsの潮流】
- 【デジタルの潮流】
- 【沖縄の潮流】

+++++

【視点】 オールドメディアの凋落とメディアDX

デジタルトランスフォーメーション (DX) については分かりにくく、いろいろな説明が行われていてもっと分かりにくくなっている。筆者は、かつて働いた新聞メディアの進展がDXの典型例の一つとして説明している。DXの理解のために、筆者が経験した新聞メディアの変遷を紹介する。

筆者が日本経済新聞に入社したころは、各所の記者クラブに配属され、書いた記事は専属のオートバイ係を呼んで、人力で運んでいた。ファクシミリ普及前だったが、日経はメーカーと共同でいち早く記事送信用の小型ファクシミリを開発し、急ぎの記事はファクシミリ送信して、オートバイ輸送と併用していたが、徐々にファクシミリ主体が変わった。

オートバイを通信手段に変えただけでも実は業態変化と効果は大きかった。原稿輸送の時間が短縮されただけでなく、オートバイ運転手の削減、原稿受け取り窓口から編集デスクへの社内配送プロセスの削減など人件費も大きく減らせた。しかし、編集デスクが原稿を加筆修正した後、専門の活字拾い（のちに和文タイプ様の入力盤入力による活字生成に進化）による版稿作成など、人力は作業が大量に残った。それを一変させたのが記者によるパソコン記事入力である。記者は新聞記事作成用に開発したワープロソフトを搭載のパソコンで会見場や記者クラブ、新聞社内、どこでも記事を作成してネットで社のシステムに送稿する。オートバイもファクシミリも不要、

入力係も不要。コンピューターでレイアウトして紙面を構成、全国各地の印刷所に送信して購読者の近くで印刷して配送する。

編集担当デスクは送られてきた記事を大型画面のサーバーで加筆修正してレイアウト担当の係に転送する。文章の体裁はシステムが自動的に編集するのでデスクの作業は事実関係の確認や記事の価値の評価など、高度なものになる。記事の重要度の評価をして、デスクがそのまま見出しをつけてレイアウトまで行う場合もある。

作業プロセスが大幅に簡素化され、業務の迅速化が進み、新聞製作工程は激変した。これだけでもDXの典型例だが、さらに日経はDXを進展させつつある。紙の新聞から電子版への進化である。

デスクが完成させた記事データは新聞製作用の大型コンピューターで新聞紙面に構成されてプラスチック製の印刷用原版を生成し、高速輪転機にかけて印刷し、紙の新聞が完成する。これをトラックや鉄道を利用して各地の配達所に届け、人海戦術で読者の元に配達する。現在もほとんどの新聞はこうした仕組みで、日経以外は電子版に出遅れている。

電子版は、大型コンピューターで完成し、輪転機にかける原版の情報をパソコンで受けられるように加工し、ネットを介して個々の読者のパソコン（あるいはスマホ）で読むようにしたものだ。旧来の紙の新聞が出力を輪転機向けにし、紙に印刷するのに対し、電子版は紙の新聞の工程をすべてなくし、ネットを通じて直接、読者に届ける。

この大変化がDXである。工程に関わる多数の人員が不要になり紙やインキなどの材料費、トラック、鉄道の輸送費、新聞配達人の人件費などのコストがなくなる。社内の業務簡素化による人件費の劇的低減に加え、新聞社経営の負担が減る。

一方、メディアと読者の情報伝達がネットによって直結してみると、そこにはSNS や動画チャンネルなどの多数の情報伝達プラットフォームが競争者として出現していることに気が付く。これまで新聞や放送などのメディアが情報提供者のメッセージを整理して読者に伝えていたが、新しい状況では、情報提供者は、ネットを通じ、直接、多数の人々にメッセージを発信できるようになっていた。

日本の紙の新聞は最大部数を誇る読売新聞が2000年頃のピーク時1022万部から2024年585万、朝日新聞が832万から339万と半分以下、日経新聞が304万から137万へと激減している、早くから電子版を手掛けた日経は電子版が97万に伸びて紙から電子への転換に対応した。紙と電子合わせて234万、ピークの304万の76%程度の水準。しかも、コスト負担の大幅な軽減によって利益が維持できている。

他の新聞に比べて日経新聞が展開している変化はDXの典型例に思われる。紙の新聞の凋落は劇的だ

が、電子化によってメディアとして生き残る道があることを証明している。

## ◆◆◆ セキュリティーの潮流 ◆◆◆

### ●セキュ・クリ始動 安保と労務の板挟みも●

経済安全保障上の機密情報を扱う人を限定する「セキュリティー・クリアランス（適格性評価）」制度が始動。同盟国との情報交換を円滑にしつつ官民で効果的な情報管理・活用をする。一方、企業側では労働法上の課題への対処などの負担が増える。

### ●全取引で2要素認証必須、楽天証券●

楽天証券はインターネットを通じた株式などの売買では一定時間で通用するワンタイムパスワードによる2要素認証を採用する。証券口座の乗っ取りによる被害拡大に対応し、セキュリティーを高める。全ての取引手段でログイン時のワンタイムパスワードを必須にする。

### ●損保ジャパン、顧客7万件情報流出か●

損害保険ジャパンの業務委託先がサイバー攻撃を受け、約7万5000件の顧客の氏名情報が流出した可能性がある。情報が不正利用された事実は確認されていない。

### ●サイバー捜査にセコム・NECから専門人材●

警察庁はセコム、警視庁はNECからスペシャリストを採用した。巧妙化する犯罪に対抗するため、官民交流を進める。

### ●中国電の社員情報に不正アクセス●

中国電力は社内ネットワークに不正アクセスがあり、グループを含む社員の個人情報などが外部に流出した恐れが出た。顧客の個人情報は含まれておらず、電力の安定供給にも影響はない。対象は最大で1万5566人。

### ●Google、テキサス州と2000億円で和解●

利用者の個人情報を違法に取得したとして米南部テキサス州に訴えられた裁判で米グーグルは約13億7500万ドル（約2000億円）の支払いで和解した。テキサス州はメタとも同様の裁判で和解している。

### ●アイルランド、TikTok制裁金870億円●

アイルランドデータ保護委員会は動画共有アプリTikTokの運営会社に5億3千万ユーロ（約870億円）の制裁金を科した。欧州の利用者データを中国に違法に送った。GDPR違反への制裁金としては過去3番目に高額となる。

## ◆◆◆ SDGsの潮流 ◆◆◆

### ●曲がる太陽電池、大都市圏に目標、都55万世帯●

経産省は東京、大阪、愛知、福岡の4都府県にペロブスカイト太陽電池の導入目標策定を要請する。日本発の技術であるペロブスカイトは薄くて曲げられるフィルムタイプやガラスに埋め込めるタイプなど複数の種類があり、建物の屋上や壁面、窓などに設置しやすく、都市圏でも大規模な導入が可能。

### ●農家の温暖化ガス排出枠企業売却、筑邦銀行●

筑邦銀行は農業分野の脱炭素化を支援するフェイガー（東京）と提携、脱炭素につながる農法で生まれた温暖化ガス排出枠について、農家が企業に売却するのを促す。同行が福岡県内を中心とした取引先をフェイガーに紹介し、稲の栽培中のメタンガス排出の抑制で見込まれる排出枠を売却する。

### ●牛ふん尿からクレジット、Green Carbon●

自然由来のカーボンクレジット（排出枠）創出・販売のGreen Carbon（東京）は北海道内の農家、酪農家などパートナー開拓を進める。同社は東南アジアを中心に森林保全、水田や家畜のメタン排出削減などでカーボンクレジット創出や販売を手掛ける。同社は乳牛が多く、水田が広がる北海道は排出枠創出の最適地域とし、この創出クレジットを活用して企業の側の脱炭素支援を担う。

### ●下水汚泥を活用しeメタン製造実証、東ガスと都●

東京ガスは東京都と連携してCO2排出量実質ゼロの都市ガス「eメタン」製造の実証に取り組む。再エネ電気で製造した「グリーン水素」と、下水処理施設の汚泥から生じるCO2を合成して、eメタンをつくる。25年度から基本計画の策定やeメタン製造装置の設置工事を進める。

### ●レジ袋のバイオプラ95%、日本マクドナルド●

日本マクドナルドは持ち帰り用レジ袋のバイオマスプラスチック比率を年内めどに95%にする。現在は50%。年約3900トンの製造時の温暖化ガス排出削減につなげる。

### ●北海道でメガソーラー、カナダのAmp社●

カナダの再エネ企業、Amp Energyが北海道士別市でメガソーラーの建設に着手する。総事業費は約40億円。2028年の稼働予定で、発電出力は道北最大の1万3000kw。データセンターや半導体関連企業の立地に伴う電力需要増加に対応する。

### ●風力発電で銀行店舗CO2実質ゼロに、静岡銀行●

静岡銀行は東電エナジーパートナーと組み、県東

部にある19店舗のCO2排出量を実質ゼロにした。使用電力が化石燃料由来でないことを示す「FIT非化石証書」を活用。東電リニューアブルパワーの風力発電所に由来する同証書を購入した。

## ◆◆◆ デジタルの潮流 ◆◆◆

### ●電力インフラ、遠隔で点検、保守業務効率化●

三菱電機や日立製作所など電機各社は電力インフラの不具合を自動で検知し、スマホに通知するサービスを相次ぎ開始した。設備保守人材の高齢化に伴い、点検の負担が増増大、インフラ維持のために遠隔監視を可能とし、点検の頻度を減らす。

### ●路線バス、顔認証で運賃決済、関越交通が実験●

関越交通（群馬県）はが県内の路線バスで利用客の乗降を顔認証で把握する実験を実施。電子決済サービス会社と組み、乗車時と降車時に車内のAIカメラで客の顔を撮影して利用区間を判別。運賃自動決済につなげる。

### ●OpenAIなど4社、AI中国対抗へ規制緩和訴え●

米議会上院商業科学運輸委員会の「AIの米中競争に関する公聴会」で、米オープンAIなど4社の幹部は「AI分野で中国企業の存在感が増すなか、中国に対抗して米企業の海外展開を促すための規制緩和が必要」と証言した。

### ●日英、個人データ移転促進、創業研究に弾み●

政府の個人情報保護委員会は英国との間で国境を越えた個人データの移転を容易にすることで合意した。日本の研究機関や行政機関が簡易な手続きで英国からデータを取得できるようにする。創業など医療分野での研究促進につなげる。

## ◆◆◆ 沖縄の潮流 ◆◆◆

### ●24年度県有効求人倍率1.11倍、3年連続1倍超●

沖縄労働局によると、2024年度の県内平均有効求人倍率は前年度比で0.06ポイント低い1.11倍、22年度以降、3年連続で1倍を上回った。23年度はコロナの旅行支援で宿泊サービス業で求人が多かったが、その反動で24年度の求人が少なくなった。

### ●県内4月倒産10件、10年ぶり2桁、人手不足●

東京商工リサーチ沖縄支店の4月の「県内企業整理倒産状況（負債総額1千万円以上）」によると、倒産件数10件、負債総額5億3500万円だった。前年同月と比べ7件増加、小規模倒産の多発で件数が10年6カ月ぶり2桁になった。小規模零細企業では価格転嫁が難航、人手不足も破綻の原因。

### ●第一交通、売上高55%増 沖縄バス事業●

第一交通産業（福岡県）の2025年3月期連結決算によると、沖縄地区全7事業の売上高合計は、前期比55.8%増の149億2千万円。バス事業で利用者が増加するなど好調に推移した。構成比大きいバス事業の売上高は、67億3900万円で前期比11%増。運賃改定での増収に加え、一般利用や団体の貸し切りなどが堅調だった。

### ●沖縄株銘柄好調、セルラー上場来高値●

5月に入り、東京株式市場で、25年3月期決算が過去最高益となった沖縄セルラー電話の株価が一時、上場来高値を更新し、期末配当の増配や中期計画の利益目標を上方修正したおきなわフィナンシャルグループの株価が年初来高値を更新するなど、沖縄景気の好調を反映して水準を上げている。

### ●県道拡張や園外に分散駐車、ジャングリア沖縄●

テーマパーク「ジャングリア沖縄」の7月25日開業を前に、懸念される交通渋滞を緩和するための対策が進行している。運営会社は沖縄県や国と連携し、道路の拡張や駐車場の分散といった対策をまとめた。

### ●新種植物ヤンバルカラマツ発見、氷期生き残り●

東北大学などは沖縄島北部で新種の植物を発見して「ヤンバルカラマツ」と名付けた。これまでは既に知られている別の植物だと考えられていた。氷期には琉球列島や台湾に広がっていたが、気候が温暖になると生育する地域が狭くなり、現在は冷涼な滝の近くにのみ生育しているとみられる。

### ●県4～6月観光客、10%増243万人、海外35%増●

沖縄観光コンベンションビューローの予想によると、4～6月の入域観光客数が前年度比10.3%増の243万7700人、コロナ前の2019、18年に続く入域数となる。ゴールデンウィークも沖縄方面の予約数が43万人以上と前年を上回り、安定して需要がみられる。海外は同35%増の64万6千人と見込む。

### ●県24年度観光客995万人、過去2番目●

県文化観光スポーツ部によると、2024年度の入域観光客数は995万2400人で、最多を記録した2018年度に次ぐ記録。18年度比で99.5%。3月の入域観光客数は前年同月比6万7300人（8%）増の91万2400人で、3月単月として過去最高だった。

## ●旅客収入が増加で3年連続黒字、JTA●

日本トランスオーシャン航空の2025年3月期決算によると売上高前期比8.8%増の507億円、経常利益同36.8%増の29億円、3年連続の増収増益だった。純利益も3年連続黒字の18億円。

## ●24年度旅客700万人突破、JAL沖縄路線●

沖縄県内を発着する日本航空グループの路線の旅客数が2024年度、JALとJTA、琉球エアコミューター、日本エアコミューターの4社合計で701万8043人、コロナ禍前の18年度(696万2807人)を超えた。特に石垣、宮古と本土を結ぶ路線が旅客数を押し上げた。円安で海外から国内への旅行先シフトも追い風になった。

## ●国内線経由の外国客32万人、欧米から7割●

沖縄観光コンベンションビューローによると、2024年度の空路国内線経由外国人入域数は前年度比約7万5千人増の32万5千人。米国やカナダなど北米が最も多く16万7680人で全体の52%。続いて、欧州が5万5600人で全体の17%。欧米で全体の約7割となる。多くの欧米客が国内線経由で沖縄へ入域している。

## ●OISTとの連携強化、県経済同友会が「特別委」●

沖縄経済同友会は沖縄科学技術大学院大学と経済界の連携を強化するための「OIST発展特別委員会」を立ち上げる。島袋健琉球銀行頭取が担当副代表幹事を務め、委員長にはおきぎん経済研究所の垣花秀毅社長が就任。活動スローガンを「沖縄の力強い未来に向けてハッシン（発進・発信）！」とし、OISTの情報発信などに努める。

## ●ゆいレール3両編成倍増、5年で197億円投資●

沖縄都市モノレールは、2029年度までの5年間で197億円を投資、輸送力増強を図る。3両編成を現在の4編成から9編成へと倍増させるほか、那覇市などと協議して主要駅の増築にも取り組む。

## ●事業承継支援会社、沖銀、M&AセンターHDと●

沖縄銀行と日本M&Aセンターホールディングスは県内企業の事業承継とM&A支援会社を設立する。県内では後継者不在を理由に休廃業に追い込まれる中小企業が多く、両社の連携で地域経済の活性化と持続的成長を支援する。県内企業は本土復帰の1972年ごろに創業した企業が多く、創業者の高齢化と後継者不足が重なるピークに達しつつある。

## ●サバニ「ぶちぶち丸」進水、海人文化継承●

日本バイオテック（糸満市）運営の海ぶどう農園「海ん道～uminchi～」は、沖縄伝統の海人文化の継

承と海や自然への理解促進を目的とするサバニ「ぶちぶち丸」を進水した。企業研修や日常から離れて心身リフレッシュを促す国内外の団体利用を見込む。

## ●那覇空港内ラウンジで期間限定泡盛、JAL●

JALグループの那覇空港国内線の「ダイヤモンド・プレミアムラウンジ」「サクララウンジ」で、6月末までの期間限定で、44銘柄の泡盛が週替わりで9銘柄ずつ提供される。一部商品を、那覇空港保安検査場A前のJAL PLAZAで販売する。

## ●再エネ、県外で本格展開へ ネクステムズ●

沖縄電力関連会社のネクステムズ（浦添市）は、太陽光発電と蓄電池を活用して一定の地域内で電力を蓄積・融通し合う独自技術「エリアアグリゲーション」を活用した事業モデルを県外や海外で本格展開する。受け皿となる子会社「REDER（リダー）」を設立、関東、関西、四国事業展開する計画。

## ●久米島、台湾個体のジュゴンに沸く、19年以来●

ダイビング中の久米島近海で絶滅危惧種のジュゴンが見つかったことが、1日分かった。研究者によると、県内での個体確認は、2019年に今帰仁村で死骸が見つかって以来。今回のジュゴンは体の傷などから、3月に台湾で確認された個体と同じ可能性が高いという。

\*\*\*\*\*

沖縄DX会員企業、連携団体、沖縄DX幹部と名刺交換させていただいた方に、No.88を送信させていただきました。沖縄DXの方向性を読み取っていただきたい。本メールや沖縄DX開催セミナーを聴講できる「情報会員」、本メールなどで紹介する沖縄DX事業に参画を希望する企業は「幹事会員」「一般会員」に加入申し込みください。お待ちしております。「会員制度の詳細を知りたい」、あるいは「この種のメールニュースは不要」という方は、恐れ入りますが、その旨、下記に送信ください。

⇒ [info@okinawadx.com](mailto:info@okinawadx.com)

なお、創刊前準備号から第87号までは下記URLから閲覧できます。アーカイブ欄があります。

<https://www.okinawadx.info/お知らせ/>

⇒ 沖縄DXチャンネルではYoutubeを利用して「サイバーセキュリティセミナー」や「SDGs解説セミナー」（首里社労士法人と共同製作）を動画配信しています。

アーカイブについては沖縄DXホームページからアクセスできます。アクセスは以下から。

<https://www.okinawadx.info/お知らせ/>

#### 沖縄トランスフォーメーション

代表理事 中島 洋

理事 中島啓吾

理事 谷孝 大

事務局長 中西利文